



BAUHAUS アームレール L型ハンド

Webで詳細図面・
納まり図をご覧ください。



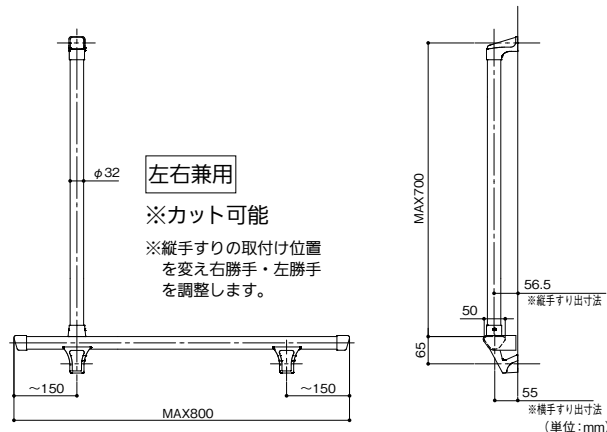
売れ筋
人気があります

介護
保険

改修

「握る」「支える」を 追求した形状の アームレール採用!

- しっかり握れる縦手すり(丸棒)と、手のひらや肘で支える
横手すり(アームレール)を組み合わせたL型ハンドです。
- 立ち座りと姿勢保持、両方をしっかりサポートします。



マツタ アームレール L型ハンド

商品コード	品番	価格
040-1919	BG-431SMO	1本 25,500円(税抜き)

- 材質: 手すり棒 / 天然木三層集成材、ブラケット / 亜鉛合金・ABS樹脂・天然木 ●色: Mオーク
- 付属品: 手すり取付け用ねじ(φなベタッピンねじ4×20)4本、木下地用/取付けねじ(φなベタッピンねじ4×40)9本、コンクリート下地用/取付けねじ(φSUSなベタッピンねじ6×55)3本、ナイロンアンカー(S8×40)3本、平座金(SUS呼び径6外径12)1枚、(SUS呼び径6外径18)2枚、樹脂カバー固定ねじ(φ丸皿タップピンねじ3.5×8)2本、ソケット取付け用ねじ(φなベタッピンねじ4×16)2本、ソケット用手すり固定ねじ(六角穴付き止めねじM5×4)2本、木製カバー固定ボルト(六角穴付き皿ボルトM4×10)1本、Dエンドキャップ固定ねじ(φスリムビス3.3×25)2本、六角棒スパナ(呼び2.5)1本
- 安全荷重: 60kgf(水平・鉛直共)
- ※箱入数=1本



※廊下用のアームレールはP.125～に掲載しております。

1 施工方法

BAUHAUS アームレール L型ハンドの施工

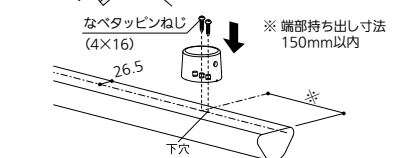
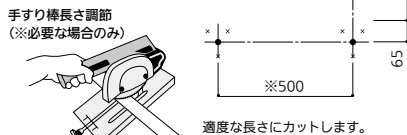
使用工具 電動ドリル、キリ、プラスドライバー

1 下地の確認と墨出し (単位:mm)

下地が無い場合は事前に壁補強工事が必要になります。次に下図を参照し取付け位置に墨出しをしてください。その後手すりをあて、位置の確認をした後、下表から壁下地に合う取付け用の下穴を電動ドリルで開けてください。

※手すり長さを調整して使用する場合は、あらかじめ笠木をカットした後ブラケット取付けの上、墨出しを行ってください。

位置	下地の種類	径(mm)深さ(mm)
×	木下地の場合	φ2.8
●	コンクリート下地の場合	φ8.0×深さ55



端部持ち出し寸法を決定の上、手すり棒にφ2.8程度の下穴をあけ、付属のなベタッピンねじ(4×16)を使用して32面付ソケット固定します。

▲施工上のご注意

- タップピンねじは必ず製品付属品をご使用ください。
- タップピンねじの締込みはインパクトドライバー等の電気工具を使わないでください。力が強すぎる場合、ねじが回りすぎて効かなくなる場合があります。

1 2 3 4 共通

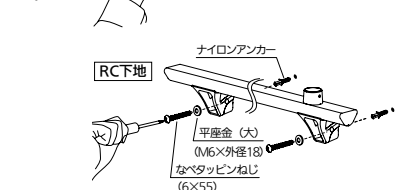
① お願い

ねじは最後までしっかりねじ込み、ガタツキの無いように締込んでください。

2 ブラケットの固定 (単位:mm)

手すり棒を仮置きし、1で墨出した下穴位置に合わせ、付属のタップピンねじ(4×40)を使用し、壁に固定します。

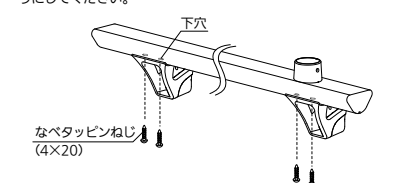
コンクリート下地(RC)の場合は、先にナイロンアンカーを下穴に差込んでから付属のタップピンねじ(6×55)を使用して固定します。



3 手すり棒の固定 (単位:mm)

手すり棒の位置を確認後、下穴をあけて、なベタッピンねじ(4×20)を使用してブラケットに固定します。

※この際、32面付ソケットの位置がブラケット横型の真上にくるようにしてください。



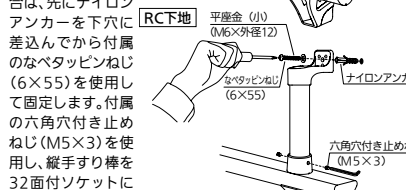
2 3 4 共通 ▲施工上のご注意

- タップピンねじの締込みはインパクトドライバー等の電気工具を使わないでください。力が強すぎる場合、ねじが回りすぎて効かなくなる場合があります。

4 縦手すり棒の固定 (単位:mm)

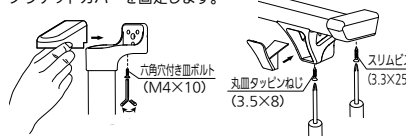
縦手すり棒を32面付ソケットに差込み、1で墨出した下穴位置に合わせ、付属のなベタッピンねじ(4×40)を使用し、壁に固定します。

コンクリート下地(RC)の場合は、先にナイロンアンカーを下穴に差込んでから付属のなベタッピンねじ(6×55)を使用して固定します。付属の六角穴付き止めねじ(M5×3)を使用し、縦手すり棒を32面付ソケットに固定します。



5 カバー・キャップの取付け (単位:mm)

付属の六角穴付き皿ボルト(M4×10)を使用し、ブラケットカバーを固定します。



Dエンドキャップを接着剤(別途)で固定し、下穴をあけた後、付属のねじ(3.3×25)で固定してください。

① お願い

手すりが壁に確実に固定されていることを十分確認してから、カバーを取付けてください。六角棒スパナでカバーを止める際、クロス傷つけないようご注意ください。

▲施工上のご注意

- Dエンドキャップはエンドブラケットではありません。服の袖を引っかかないためのキャップです。